

〔目的〕 現在、タイツはパンティーストッキングと同様に多くの女性に着用されている。しかし、これまでにパンティーストッキングに関する研究は多く報告されているが、タイツに関する研究はほとんど見あたらない。そこで本研究では、現代の衣生活に対応したタイツ設計の基礎的資料を得るために、タイツの着用感と快適被服圧の関係について検討する。

〔方法〕 市販のタイツ（AD、AS）の中からデニール数を考慮して15種類のタイツを選定し、健康な成人女子10名に着用させた。タイツ着用時の主観的評価を、着用しやすさ、なめらかさ、すげにくさ、圧迫感、動きやすさ、ずれにくさ、総合的評価、および各部位の圧迫感からなる評価項目を用いて行った。さらに、ウエスト部、腹部、大腿部前面、膝窩部、下腿部後面、足首部において被服圧の測定を行った。これらの結果から、タイツの快適さに影響する要因と力学特性および被服圧との関係について検討した。

〔結果〕 タイツ着用時の主観的評価において、「総合快適さ」に影響する要因は「着用しやすさ」「圧迫感」「動きやすさ」であった。また、主観的評価での各部位の圧迫感と被服圧とはいずれの部位においても高い相関がみられた。さらに、大腿部および下腿部では、総合評価の高いタイツの被服圧レベルは、パンティーストッキングの快適被服圧レベルに比べて、約 $2\text{gf}/\text{cm}^2$ 程度下まわることが明らかとなった。